

## 西高ニュース 第100号



校訓

克己、協調、創造

県立伊丹西高等学校

住所：伊丹市奥畑3丁目5番地

TEL：072-777-3711

FAX：072-777-3712

HP：http://www.hyogo-c.ed.jp/~itaminishi-hs

平成20年5月9日に創刊した「西高ニュース」が記念すべき第100号を迎えました。今までご愛読いただき、ありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。

## ボランティア部 1.17追悼のつどいに参加

阪神・淡路大震災から1月17日で22年を迎えました。本校では、放送による追悼講話の後、犠牲となられた方々に黙祷を捧げました。2年生は修学旅行先のルスツで、同様に哀悼の意を表しました。

1月16日(月)17:46~17日(火)5:46 昆陽池公園南広場にて「兵庫県南部地震犠牲者追悼のつどい」が催されました。本校からは、16日にボランティア部1年生の4名が参加しました。つどいでは、震災犠牲者の数のろうそくを灯し、鎮魂の祈りをささげました。



## 学力向上職員研修会

1月6日(金) 他校の高校からも5名の先生方が加わり、本校にて、教職員向け「学力向上職員研修会」を実施しました。

兵庫教育大学 吉水 裕也 教授を講師としてお招きし、「学習課題の発見・探究と深い学び」というテーマで、これからの社会で生徒がたくましく生きる力を育てるために、どのような授業が今後必要となるかについて真剣に学びました。

本校では、課題の発見・解決に向けた主体的で協働的な学び(アクティブ・ラーニング)についての研究を進めています。講義型の授業、ペアワークやグループワークを取り入れた授業、ICT(コンピュータやインターネットなどの情報通信技術)を活用した授業を効果的に組み合わせることで、生徒の学習意欲や学力の向上を目指しています。

講演では、アクティブ・ラーニング型授業を効果的に進めていくために、「なぜそうなのか」「どうしてそうなるのか」といった、生徒を深い学びに導くための問いの設定が重要であることなどについて、わかりやすく教えていただきました。



## 1年生 百人一首かるた大会

1月18日(水)6限目 1年生が体育館で「小倉百人一首かるた大会」を実施しました。当日は寒いにもかかわらず、熱い戦いが繰り広げられました。1年生の先生方や国語科の岸田先生が歌を順番に読み上げると、生徒たちが「はい!」と激しく取り札をとり合って、盛り上がりました。みごと優勝を飾ったのは2組です。おめでとう!



## 土曜学習教室「いなの」参加

1月14日(土)10:00~12:00 昆陽センターにて土曜学習教室「いなの」に、3年3組の道林唯斗さんと山口航希くんが参加しました。

道林くんより:

当日、子どもたちと一緒に、地域の方から将棋を教わりました。

でも、子どもたちの方が飲み込み早くて、負けてしまいました。子どもたちですごいなあと感じました。



## 1年生 総合ヒューマン特別講座

1月26日(木) 1年生総合ヒューマン類型「特別講義」の授業で、加藤 作子 先生に来ていただき、「福祉の心」をテーマに講義していただきました。加藤先生は病気が原因で23歳から車いす生活をされています。シドニーパラリンピック(2000年)50m×4自由形リレーに出場し、世界新記録で金メダルを獲得されました。現在も世界選手権出場に向け水泳を続けられています。

生徒の感想より: 「加藤先生は車いすで生活されていますが、生まれつきではなく、病気が原因で車いす生活をするようになったそうです。私は足の手術で半年ほど車いすを使っていたことはありますが、足が治れば歩けます。でも、加藤先生はもう歩けません。その現実を受け止めながら生活をしていくのはとてもつらいし、しんどいと思います。たぶん、今私が想像している以上に大変なことだと思います。私は将来必要なことをたくさん教わることができました。介護・看護される時、介護士・看護師のタイミングで事をこなされるのは(起きて車いすに乗るなど)とてもいやだということ、自分で出来そうなことは自分でしたいということなど本当に多くのことを学びました。これを私のこれからの生活に活かしていきたいと思います。」

「加藤先生は私たちにたくさんの心に残る言葉を残してくれました。『看護・医療の仕事において、一番大切なことはその人の立場に立って話を聞いてあげること。』という言葉は保育の仕事にも当てはまる言葉だと思いました。子どもの立場に立って話を聞いてあげないと、子どもはきっとあきらめてしまうと思います。だから、人の立場に立って話しをすることを大事にしようと思います。さらに『急げたら、急げただけの自分』という言葉も心に残りました。がんばれば結果はついてくると信じて、勉強や部活をがんばろうと思いました。」

